

ふるさとの昔 ⑪

よう さん 養蚕

栽培した桑の葉で蚕(かいこ)を飼い、絹糸の原料になる繭(まゆ)を生産する農業です。戦前から輸出用として盛んに行われました。世界恐慌の影響で一時激減しましたが、戦後の高度成長期に再生し、養蚕農家が増えました。坂祝でも昭和30年ころには250戸ほどの養蚕農家がありました。養蚕は農家の貴重な現金収入でした。

卵からかえった蚕は約1ヵ月かけて4回脱皮をして繭になります。その間、新鮮で十分な量の桑を休みなく与え、温度・湿度等の管理をします。蚕が繭を作る前には「蔭(まぶし)」という道具に1匹ずつ移し、約1週間後にできた繭を集めます。養蚕は多くの人手が必要な仕事で、女性や子どもも動員され家族は寝不足になりました。春から晩秋まで何度も(多い場合は5度)蚕を飼う農家もありました。最後の繭を出荷すると農家の人々はやっと安心できました。養蚕に使った道具は川原に運んで洗いました。それらを片付ける頃には秋風が冷たくなっていました。



一色中川原 養蚕道具を洗う

広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

寒玉子令和時代の超貴重

小関 美砂子

生け垣の山茶花の紅つつましく

小関 美砂子

元旦や真つ先に見る御嶽山

恩田 いせ子

寒卵さてきて生も煮てもよし

恩田 いせ子

初日の出盤石といふ山容

伊藤 文

ペンを持ち姿勢を正す初日記

伊藤 文

着ぶくれて五体を遠くしていたり

ほぎ子

初日踏む十歩の力のこりたり

兼松 禎子

松飾り外して七曜戻りたり

兼松 禎子

おくやみ

小島 八重子様(取組)

85 歳

三品 利江様(黒岩)

89 歳

武山 松博様(取組)

74 歳

金武 政博様(黒岩)

88 歳

3月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ収集 18日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラス<ず>を分けて「もえないごみ収集袋」に。
袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 16日(日)

時 間: 8時~10時
場 所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、
水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池

